令和２年度　学校研究について

１　学校研究全体計画

（１）研究主題

語り合い，学びが深まる授業づくり

～　よりそって聴き，つなげて考える力の育成を通して　～

（２）主題設定の理由

一昨年度から研究主題を「主体的に考え，表現できる子の育成」として継続して研究を進めてきている。初年度は，まず「主体的に考える」に重点をおき，児童が意欲的に学習に向かい考えたくなるような課題提示の工夫などの授業改善を行った。その結果，学びに向かう子ども達の意欲の向上は見られたものの，意欲が継続しないという課題があがった。

そこで，昨年度は主題をそのままにし「表現できる子」に重きをおき，副題を「根拠をもとに，語り合う授業をめざして」とした。答えを出して終わりではなく，なぜそのような答えになるのか，なぜそのような式になるのか，どのように考えたら式が導き出せるのか等，自分の考えの根拠となるものを図・式・言葉等で表し，友達と考えの交流を行うよう授業改善を行ってきた。それぞれの学年に応じた方法で，根拠となるものを書き，それを指し示しながら友達に説明し合う授業があちこちで見られた。児童は，自分の考えの根拠となることを「書く」ということに対しての抵抗感は減り，「根拠をもとに工夫して書いていますか。」というアンケート項目では９割近くの児童が「できている」と回答している。しかし，同じ項目での教師の評価は低くかなりの意識の差がみられた。書く意欲はあり，書いてはいるものの，教師が求めている力にまでは到達していないというのが現状である。そのため，「根拠をもとに図・式・言葉を使って考えを書く」指導は今後も継続していく必要がある。

もう一つの課題として，話す活動があげられる。ペアやグループ活動では，自分の思いを語ったり，考えを聴き合ったりする姿はよく見られるようになった。しかし，集団思考の場面では，ペアやグループ活動後の発表だけで終わってしまったり，分かる子だけが話して分かったつもりになっていたりすることがあり，児童の学びを深めるための教師のコーディネート力を高めることが課題としてあげられた。

そこで今年度は，個人思考で自分の考えを書き，集団思考で友だちと考えを伝え合うことで学びを深めていくような授業づくりをめざし，本主題を設定した。図・式・言葉を関連付けながら考えの根拠として書く活動の指導を継続することで，自分の思いや考えを持ち，相手意識をもって伝える力を育成していきたい。また，互いに気づきを伝え合い，より良い考えや方法を追究していく力を育成していきたい。そして，友だちの考えやつまずきによりそって聴き，みんなでつなげて考え，語り合うことを通して，学びが深まる授業をめざしていきたい。

（３）研究の全体構想図

学校教育目標　　伝え合い，認め合い，高め合う子の育成

めざす児童像

・思いや考えを持ち，伝えることのできる子
・友だちのよさを見つけることのできる子
・互いに高め合うことのできる子

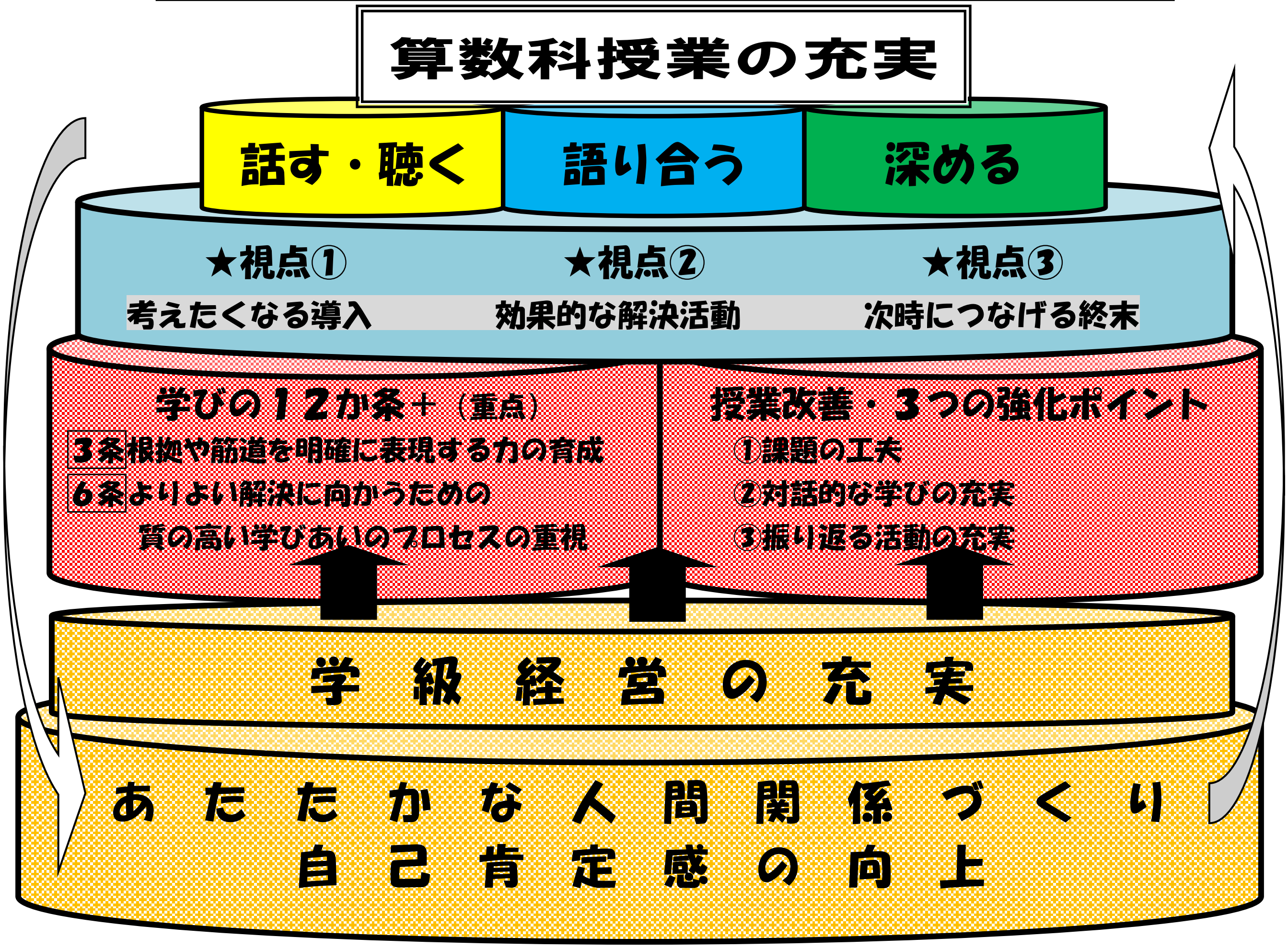
研究主題

語り合い，学びが深まる授業づくり

～　よりそって聴き，つなげて考える力の育成を通して　～

めざす児童の姿

・聴き手を意識した表現ができる子（伝え合い）
・相手の思いや考えを共感的に受け止め，よりそって聴ける子（認め合い）
・友だちと語り合い，考えを広げ，深める子（高め合い）
・互いに気づきを伝え合い，より良い考えを追究する子（高め合い）



（４）研究の視点

視点①　考えたくなる導入の工夫

・児童の心を揺さぶり問いを持たせる手立て

・問いから学習のめあてを見つけさせる手立て

・解決の見通しをもたせる手立て

視点②　効果的な解決活動の工夫

・個人思考で図・式・言葉を使って答えを導き出させる手立て

・目的を明確にしたペア・グループ活動の手立て

・全体で，考えの異同やより良い考えを追究し深める手立て

視点③　次時につなげる終末の工夫

・定着を確かめる適用問題の工夫

・思考過程を価値付けふり返らせる手立て

・学びの喜びを実感させるようなふりかえりの手立て

（５）研究組織

研究推進委員会

校長 ― 教頭 ― 教務 ― **研究部**
研究主任・（平野）・（鴻渡）※各部会から１名

研　究　全　体　会

低学年部会	中学年部会	高学年部会
○吉田亜 新田　呉座 山崎　田嶌	○平野 松本　　中村 木下雅　吉田桂 木下早	○鴻渡 泉　　　西山 出口　　西上

（６）研究の方法

研究推進委員会

○研究推進委員が中心となり，研究実践を進める。また，研究部は計画・連絡・調整・実践の連携を図る。

研究全体会

○「めざす授業」に向けての学習会や取り組みについて共通理解を図る。

○全体研究授業の指導案の検討・授業整理を行う。指導案検討では，模擬授業形式で提案し，授業展開について意見交流を行う。

○授業整理会では，参観時に「良い点」「課題」について付箋に記入したものをもとに，グループ協議を行う。まとめとして，各学年での実践について話し合い，キーワードでまとめる。

○研究授業後は，研究報告書を作成する。

低・中・高学年部会

○研究推進委員会の提案を受けて，教材研究や「めざす授業」に向けての実践を行う。

○研究授業の指導案の作成・検討を行う。

○公開授業は，部会ごとに事前検討，参観，整理会を行う。指導案は全員に配布し，他部会の参観者にも意見や助言を受ける。

○研究授業は，各学年全体研究授業１本（算数）と公開授業１本（他教科可）を行う。級外担当も公開授業を１本行う。ただし，低学年部会は，今年度は生活科または算数科の授業を公開する。

○研究授業後は，研究報告書を作成する。

その他

○積極的，計画的に他校視察を行い，視察後は特に本校研究に関わると思われる点，実践可能な点について報告し，研究の推進に活かす。資料等があれば，配布または回覧をし，共通理解を図る。

○校内研修会では，外部講師・指導主事を招聘し，指導や助言を仰ぐ。

○授業交流を行い，互いに授業を見合うことで，授業力の向上をめざす。

○学力向上パートナーシップ推進事業により，他校と連携をはかり学力と指導力の向上をめざす。